

健康ぷらざ

No.120

企画:日本医師会

こんなもの忘れには ご注意を

体験そのものを忘れるようになったら痴呆かもしれません。

たとえば通常は、何を食べたかを忘れても食事をしたことは覚えていて、ところが痴呆の場合は、記憶全体がとぎれて食事をしたことさえ忘れてしまいます。

痴呆の初期症状は家族でもなかなか気づきにくく、感情的なトラブルが起こることもあります。

よく観察して少しでも早く発見することが大切です。

老年期の痴呆の原因は、脳に起こった障害ですから、

治療によって進行を遅らせ、症状を軽減することができます。変だなと感じたら、

早めにかかりつけ医に相談しましょう。

こんなチェックをしてみましょう。

- 自分の年齢がわかりますか？
 - 今日の年月日、曜日がわかりますか？
 - まず、3つの異なる概念の言葉(例:桜、猫、電車)を覚えてもらいます。3〜5分後に、覚えた3つの言葉をもう一度思い出すことができますか？
- できないようなら医師にご相談を。

痴呆



指導: 聖マリアンナ医科大学 副理事長 長谷川 和夫

◆待合室等に掲示し、患者さんにおみせください。